



資料 7

【概要資料】

<作業部会資料>

関係者の入場管理に係る調達について

1. 審議事項

大会セキュリティ対策の1つとして、
関係者における入場管理に係る
調達をすることについて
審議・了承いただきたい。

2. 大会セキュリティ対策における本調達の必要性・意義

セキュリティチェックポイントにおける東京大会の要件・課題を踏まえ、ICチップ+顔認証チェックの採用を検討し、過去大会のバーコード+目視チェックと比較検討した。

東京大会のアクセスコントロール要件

なりすましや不正入場を許さない

■ アクレディテーションカードの偽造防止

■ 確実な真贋確認・本人確認の実施

課題を克服しつつ
要件を満足する為の検討を実施

東京大会の課題

■ 会場が市街地に隣接

■ 待ち行列が作れない

■ 会場が狭い

■ ACPが不足する

■ 猛暑下での運営

■ 長時間の並びは熱中症リスク

■ ボランティアでの運営

■ チェックの技量に懸念

セキュリティフェンス

- 高さ2.5～3.0m
- 24時間警戒



スクリーニング

- 人・モノ・車両の検査
- 持込禁止品のチェック



チケットチェック

- 有効かチェック
- 偽造でないかチェック



顔認証

- ICチップ搭載
- なりすまし防止



会場をCleanな環境に保ち、
「安全・安心」を提供

今回の調達

観客

関係者

3. 関係者の入場管理概要

運営エリアの安全確保のため関係者の入場管理を厳格化

内容：ICによる入場管理・真贋確認、顔認証による本人確認

契約方法：発注案件により異なる

予算：V2予算の範囲内
※全額東京都負担

導入効果：①チェック速度向上によるACPLレーン縮減
②スクリーニングでの関係者区分・手荷物種類による
X線装置の機材縮減